



私たちのCSR

事業内容

日立製品全般の販売及び計画から設計・施工及びメンテナンス、環境システム、情報通信システム、IoT、AI、ドローン事業、太陽光・小水力発電設備等、エンジニアリングの提供

取扱設備

受変電設備、上下水道設備、太陽光発電設備、空調設備、昇降機、照明、情報通信関連機器、監視カメラ設備、機械器具設備工事、太陽光パネル監視管理システム(ドローン)、小水力発電、予兆診断システム、防災行政無線、IoT設備、AIシステム等

事業所



[本社] 〒870-0017 大分市弁天二丁目7番1号
TEL.097-537-5385 FAX.097-534-2781



[中津支店] 〒871-0004 中津市上如水1418番地
TEL.0979-32-6507 FAX.0979-32-8063



[福岡支店] 〒812-0007 福岡市博多区東比恵二丁目12番24
TEL.092-473-1919 FAX.092-473-1929



[プラントソリューション部]
〒870-0108 大分市大字三佐由原814番地5
TEL.097-521-2730 FAX.097-521-0798

日立特約店
柳井電機工業株式会社

<http://www.yanaidenki.co.jp>

CSRレポート発刊にあたって

- FOR PUBLISHING CSR REPORT 2025 -

トップメッセージ

- TOP MESSAGE -

日頃より格別のご高配賜り誠にありがとうございます。

2025年は、国内においても団塊の世代が75歳以上になる「2025年問題」が、社会保障費の急増、労働力不足、中小企業の事業承継など大きな問題となりました。さらには、「物価高」や「令和のコメ騒動」が、一般家庭の生活に影響を与えています。

一方で大阪万国博覧会の開催で、大きな盛り上がりと最先端の技術を展示した近未来への希望を私たちにもたらしてくれました。持続可能な社会を目指して、解決すべき課題は山積ではございますが、皆様の生活環境がより良いものになるよう祈願申し上げます。

さて、弊社の2025年度版CSRレポートも14回目の発刊を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご厚情の賜物であり、改めまして感謝と御礼を申し上げます。

Well-being(ウェルビーイング)な社会の実現に向けて社員一同、工夫を凝らし活動してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

私たち『柳井電機工業株式会社』は、事業を通じて、社会の持続可能な発展に貢献するため、積極的に“企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)”を果たしてまいります。

具体的には…

- ・はたらく従業員にとって良い「とりくみ」になるように。
- ・お客さまにとって良い「とりくみ」になるように。
- ・社会や地域の皆様にとって良い「とりくみ」になるように。
- ・地球環境にとって良い「とりくみ」になるように。

- 委員会名称 -		- ページ番号 -
事務局	環境委員会	2名
環境		5名
人権	ダイバーシティ推進委員会	5名
コミュニティ	社会貢献委員会	5名
消費者課題	事業品質委員会	5名
労働慣行	働き方改革委員会	5名
公正な事業	公正事業推進委員会	5名
		P11-12
		P13-14
		P15-16
		P17-18
		P19-20
		P21-22
合計 32 名		

ステークホルダーの皆様の声を事業活動に組み込み、社会からの期待に応えられる企業を目指します。

柳井電機工業株式会社
代表取締役社長 柳井 智雄

企業理念

- CORPORATE PHILOSOPHY -

『こんな人でありたいよね』=『YANAI 力』として、5つの理想とする人物像を作り上げました。
【VISION】と【MISSION】を目標に『Yes, and!』の思考プロセスで課題解決に取り組みます。



VISION ワクワクとした仕事を通じて、みんなで幸福になる
MISSION 顧客の課題をトコトン見つけ、圧倒的に解決する

Yes, and !の思考プロセス

柳井電機の仕事への取り組み方の根底にある
「Yes, and！」はこう作用します

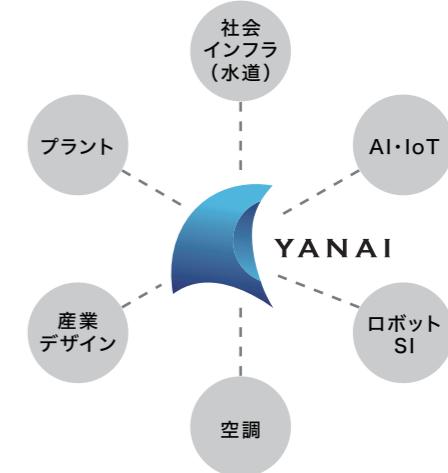


会社概要

- COMPANY OVERVIEW -

電気機械の困ったを解決する 柳井電機工業は、そんな技術集団です

生活に必要不可欠なライフルイン、工場の生産設備、環境にやさしいエネルギー。
それらを支えるのが柳井電機工業の仕事です。
私たちは6本の柱(社会インフラ、プラント、産業デザイン、空調、ロボットSI、AI・IoT)を軸に、様々な立場の皆さまが、『安心して過ごせる幸せ』を提供しています。
今日より明日、明日よりその先の未来へー
日々進化し続けるお客様のニーズに真摯にお応えしながら
私たちは社会全体の幸せを追求し続けます。



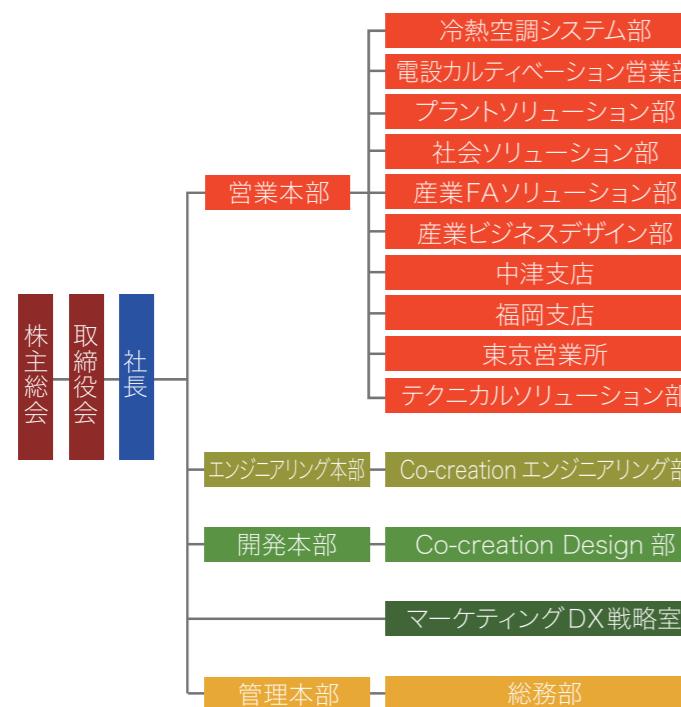
商 号：柳井電機工業株式会社
YANAI ELECTRIC & MACHINERY CO.,LTD
役 員：代表取締役社長 柳井智雄
創 業：1947年9月9日
設 立：1961年3月23日
年間売上：100.1億円（2025年9月期）
社員数：170名

所在地：
<本 社> 大分市弁天二丁目7番1号 〒870-0017
TEL:(097) 537-5385
<中津支店> 中津市大字上如水1418番地 〒871-0004
TEL:(097) 32-6507
<福岡支店> 福岡市博多区東比恵二丁目12番24号 〒812-0007
TEL:(092) 473-1919
<東京営業所> 千葉県柏市南柏一丁目2番8号
テラスビル4-B 〒277-0855
TEL:(080) 6459-8035
<横浜営業所> 神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番2号
横浜ブルーアベニュー12F1254号室 〒220-0012
TEL:(045) 274-7891

組織図

- ORGANIZATION CHART -

■ 組織図



柳井電機 トピックス

- TOPICS OF YANAI -

本社1F【可能性の森】が完成しました。

昨年より本社1階を改装し、2025年2月に完成いたしました。

新たな出会いや発見、イノベーションを生み出す場として、ウェルビーイングを持続していくような環境作りに取り組んでいます。



entrance



open space



conference room



gym

CSR2025 トピックス

- TOPICS OF CSR2025 -

YANAIグループBBQ大会

2025年4月19日柳井グループ合同のバーベキュー大会を本社駐車場にて開催しました。

今回は、鹿児島から初参加となった南日汽缶工業や、福岡から東電、大分からティールファシリティーズ、ヤナイ物流の5社合同イベントとして、社員はじめその家族を交えてじゃんけん大会などで大いに盛り上りました。
グループ間の交流を通して親睦を深めることができました。



ドナー休暇制度導入しました

骨髓バンクドナー登録者への支援として、『ドナー休暇制度』を導入しました。

ドナー登録のために通院や入院等で休暇を申請する必要がある場合は、ドナー休暇という特別休暇を付与することで有給休暇を申請することなく、ドナー登録の推進と登録者への支援を目的とした制度になっています。
日本骨髓バンクのドナー休暇制度導入企業(約900社)として県内2例目となる登録となりました。



SDGs トピックス

- TOPICS OF SDGs -

関連する SDGs



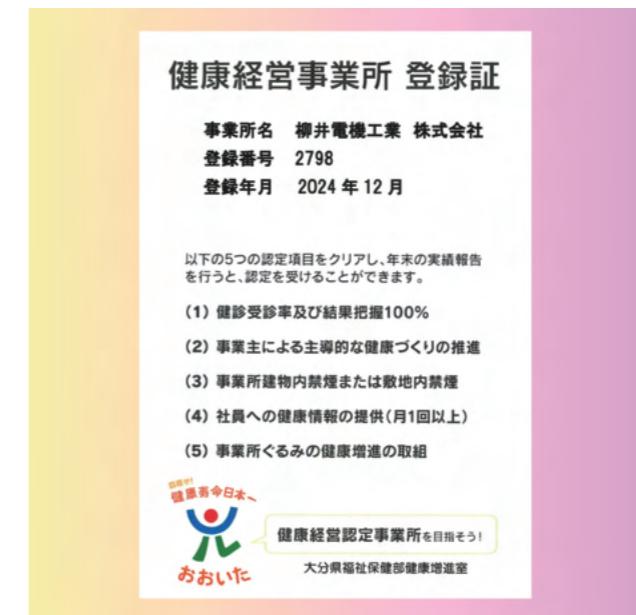
男性の子育て推進講習会を実施しました

2025年3月12日 本社1Fでリニューアルしたばかりの「可能性の森」にて、大分県が主催する男性の子育て推進講習会を開催しました。男性の育児参加に対する意識の向上と誰もが働きやすい職場環境作りの推進を目的として、全社員を対象にした講習会では、「男性の育児参画から考える仕事と子育ての両立」をテーマに講演いただきました。後半のグループワークでは、理想の仕事と子育ての両立ができる組織つくりの具体的なアクションプランを出し合いながら、みんなの思いを共有する有意義な機会となりました。



『一社一健康宣言』を始めました

社員の健康を大切にする職場づくりの一環として、協会けんぽ大分支部が推進する「一社一健康宣言」にエントリーしました。さらに大分県が実施している「健康経営事業所」にも登録しており、健康企業を目指し日々のラジオ体操やリフレッシュ休暇などを取り入れ生活習慣の改善にも取り組んでいます。



環境委員会

- ENVIRONMENTAL SAFEGUARDS -

関連する SDGs



環境マネジメントシステムであるエコアクション21を適正に運用し、企業活動によって生じる環境負荷の継続的な改善をはかり、地球環境の保全に努めていきます

社内のエネルギー使用を毎月調査し削減を推進しています
また、地域植樹活動等実施し、環境意識の向上を図ります

■ 環境に関する取り組み



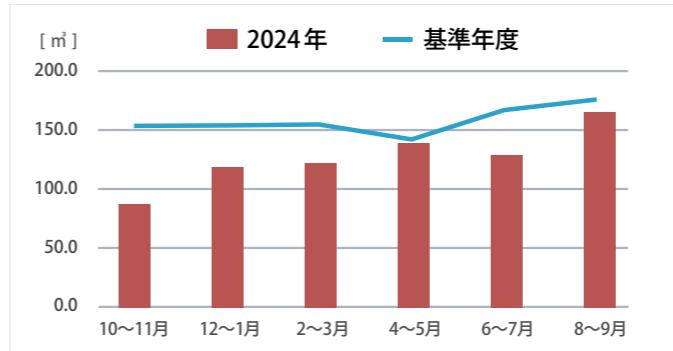
▲ エコアクション21の取り組み



▲ 植林ボランティア

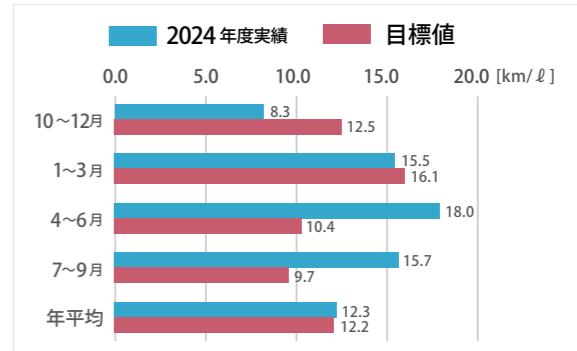
◆植林ボランティアに参加
3月1日(土)第29回ボランティアによる森林づくりに9名参加いたしました。県民の森平成森林公园さくら園付近にジンダイアケボノ40本、オオシマザクラ20本の植樹しました。今後も引き続き参加し、緑豊かな大分を目指します。

■ エネルギー使用量の削減：水使用量、車両燃費、電気使用量



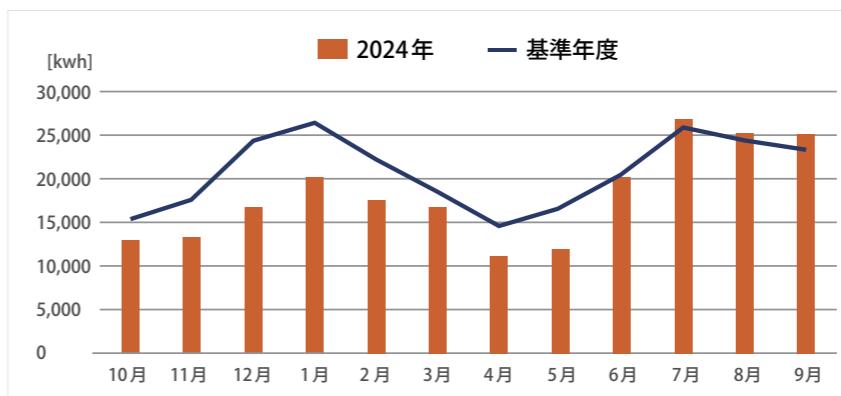
▲ 水使用量

昨年度と比較して使用量が全月下旬がりました。
継続して社内全体に節水を推進していきます。



▲ 車両燃費

目標値にわずかですが、達成することが出来ませんでした。
燃費向上に向けてエコドライブを推進していきます。



▲ 電気使用量

基準値より約12.8%の削減を達成することが出来ました。引き続きCO₂排出を抑え環境負荷削減に向けた取り組みを実施しています。

ダイバーシティ推進委員会

- DIVERSITY & INCLUSION PROMOTION -

関連する SDGs



私たちは性別や人種の違いに限らず、年齢・性格・学歴・価値観などの多様性を受け入れることで、一人ひとりの個性を輝かせます

社員一人ひとりが個性、人権についての理解を深めることでそれぞれの個の考えを発信しやすい環境を整えることで、新たなイノベーションを生む可能性が最大となる職場を目指します

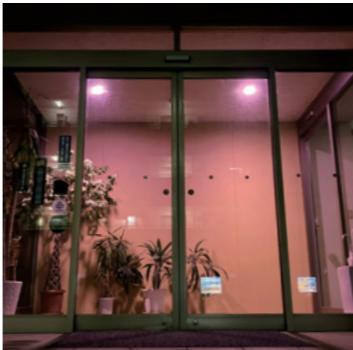
■ 社内掲示版コレスキの投稿啓発

～コミュニケーションツール“コレスキ”～

他の社員のことより知って頂くこと、そして共通の「好き」が見つかることで、新たなコミュニケーションが生まれることを理想として開設され、4年が経過しました。社員が積極的に投稿した内容はマニアックなものばかりです。仕事以外の意外な一面を知るきっかけづくりになっています。



■ アイネス パープルリボンプロジェクト 2024への参加



大分県女性に対する暴力をなくす運動
～DVや性暴力の悩み、受け止めている人がきっといる～

内閣府男女共同参画推進本部による、女性に対する暴力をなくす運動「アイネスパープルリボンプロジェクト2025」に去年に引き続き参加しました。対象期間である11月12日から11月25日迄の2週間、本社屋の玄関口をパープルにライトアップし啓発ポスターの掲示を行いました。当プロジェクトへは今後も参加し、女性への暴力・性犯罪の根絶を目指します。相談できる環境づくりにも取り組んで行きます。

■ その他各種取組について



女性限定のお悩み相談、
情報共有のコミュニティ
「ニュースレター・相談の場」の開設

女性限定のお悩み相談、情報共有のコミュニティ「ニュースレター・相談の場」、「ダイバーシティ関連の研修の社内案内」、「委員の外部研修への参加」、「ダイバーシティ関連のコンテンツ配信」等、社内に対し、ダイバーシティを身近に感じる機会を持てるように、啓発を行いました。

社会貢献委員会

- CORPORATE SOCIAL CONTRIBUTIONS -

関連する SDGs



私たちは職場体験学習の受け入れなどで地域と密着し、清掃や献血などのボランティア活動をする事で、地域社会とより良い関係性を築くことを目指しています

献血やペットボトルのキャップ収集で医療の支援をしたい、子供たちに夢や目標を見つける手助けをしたい、得意なことを活かし地域の手伝いをしたい、などの優しい気持ちで活動しています

■ 大分国際車いすマラソン オフィシャルパートナー



今年も大分国際車いすマラソンのオフィシャルパートナーに登録しました

第42回・第43回に引き続き、第44回もパートナー登録しました。この大会は、地元大分で開催されている世界最大、最高レベルの大会として国内外から高い評価を受けています。

車いすマラソン競技における世界記録は、男女ともこの大会で過去記録されています。パラリンピック出場者も多数出場された大会で、そんな大会を通じて希望と勇気を持って社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く関心と理解を深める事を目的をしており、私たちも協賛を通じて大会を盛り上げていきたいと考えております。

■ 赤十字献血活動

2024年 11月7日実施	18名
2025年 3月24日実施	24名
2025年 9月19日実施	26名



▲ 献血する社員
(継続25年、50回くらいやっています)

年間3回の献血を目標に実施しております

当委員会では、全国の輸血用血液不足の為、献血カーをお呼びして献血活動を行っています。最近では献血カードがアプリ化し、常飲していても献血ができるお薬が増え、さらに参加しやすくなっています。

一方で若者の献血離れが不安視されています。この活動を通じて献血の重要性が若い世代にも定着することを期待し、若者だけでなく協力会社の方にもご協力をお願いし、引き続き継続していきます。

■ 様々な社会貢献活動



▲ 清掃活動をする社員



▲ ペットボトルキャップ提供証明書



▲ 社内に設置された募金箱

◆ 地域清掃活動
会社付近の道路の清掃活動(ゴミ拾い・草取り)を月一回程の頻度で実施しています。

◆ 世界へワクチンを
ペットボトルのキャップを1年間集め、株式会社ZEN様へ提供しました。提供したキャップは、ポリオワクチンの購入に役立てられます。

◆ 歳末助け合い募金
昨年度は一般社団法人親切会九州支部様へ￥21,366-寄付させて頂きました。

◆ ドナー休暇制度の導入
骨髄バンクのドナー登録者の推進と支援を目的に、特別休暇を導入しました。

事業品質委員会

- BUSINESS QUALITY -

安全・安心・高品質な製品及びサービスを提供する為に、従業員の教育・訓練に努めるとともに、災害発生時にお客様の事業を早期に再開するための活動を行っております

コロナ禍をきっかけに活動に対面以外の選択肢も増えました
そういった選択肢をうまく取り入れながら社員の品質向上に取り組んでまいります

■ 本社にてコンプライアンス講話を実施しました



▲ コンプライアンス講話の状況



本社にて外部より講師の方を招き、全社員対象のコンプライアンス講話を開催しました。今回のコンプライアンス講話の開催は、社員のコンプライアンス意識向上を目的とし、業務にも関係する「ちょっとした判断のズレ」や「普段は気にしていなかった行動」が、思わぬリスクやトラブルにつながることを社員に学んでいただきました。講話に出席した社員からも「コンプライアンスについての知識がさらに深まった」、「小さなことでも上司や仲間に話せる職場環境を作ることも大事だと思いました」といった声を聞くことができました。今回の講話を通して、社員のコンプライアンスに関する知識や意識が深まったと思います。今後は今まで以上に、社員一人ひとりがコンプライアンスに責任を持ち、社会へ責任ある行動を取れるように努めてまいります。

■ 事業継続計画



▲ 社員自宅用保存食(3日分)



▲ シェイクアウト訓練

災害等の発生時に早期の事業再開をするための活動

今期新たに購入したのは、過去に配布した社員の自宅用保存食(3日分)の消費期限が迫っていたため、新たに購入し配布しました。内容は、「保存水」「お粥」「ビスケット」「ドライカレー」「五目ごはん」「山菜おこわ」「きなこ餅」がセットになったものです。その他にも「防災ラジオ」や「懐中電灯」など防災用品も追加しました。今後も非常事態に少しでも幸福感を味わえるようなラインナップしていくよう継続して備蓄品購入を行います。
大分市シェイクアウト訓練に全社で参加いたしました。その他、災害等の発生時を想定し防災情報を12回配信、顧客満足度アンケートを行いました。

■ 品質向上活動



▲ 国家資格取得者一覧 (2024年10月～2025年9月)

YANAI 品質の提供を目的とした従業員の教育・訓練

今期多くの社員が資格を取得いたしました。
毎年本社にて行う新入社員対象のマナー講習会は、今年度は外部機関が主催する講習会に参加しました。講習会で学んだことを仕事で活かせるよう、来期以降も柔軟に対応しながら社員の品質向上に取り組んでまいります。

関連する SDGs



働き方改革委員会

- WORK-STYLE REFORM -

**安心して働ける環境を整え、
部署の枠を越えてつながり合える職場を目指し、
社員のウェルビーイング向上に取り組みます**

置き型社食やありがとうの木の活動、ハラスメント防止、健康経営の推進、ドラレコ設置など、
安心して働く職場づくりに取り組んでいます

■ 置き型社食の設置

改装した本社1階に置き型社食を導入しました

本社1階フロアリノベーションに伴い、置き型社食「オフィスおかん」を導入しました。

健康経営の一環として、社員の食事のサポートすることで、毎日お弁当を持参する家事負担を軽減し、社員満足度の向上を目的としています。本社1階フロアの利用を通じて、業務以外で会話する機会がない社員同士のコミュニケーションの促進と、健康面へのサポートでウェルビーイング実現への職場環境を目指します。



▲ 社食を選ぶ社員の姿



■ ありがとうの木の活動



**お互いを思いやり、
感謝を伝え合う職場づくり**

社内チャットに感謝を共有するチャンネルを設け、この1年間で268件の「ありがとう」メッセージが投稿されました。部門や担当の枠を越えて、互いを思いやり行動する社員が多く、感謝の輪が広がっています。感謝の気持ちが次の行動へとつながる好循環を生み出せるよう、今後も取り組みを継続します。

■ その他の活動



▲ 健康経営事業所パンフレット



▲ ドライブレコーダーの設置

◆パワハラ防止方針の制定、相談体制の整備
総務部と協力してハラスメント防止規定の制定を進めています。

◆健康経営事業所への登録
健康情報の提供や禁煙アンケートなどを行い、健康経営事業所の認定を目指します。

◆男性の子育て推進講習会の開催

◆ドライブレコーダーの設置

公正事業推進委員会

- FAIR BUSINESS PRACTICES -

関連する SDGs

10 人や国の不平等をなくそう



12 つくる責任つかう責任



16 平和と公正をすべての人に

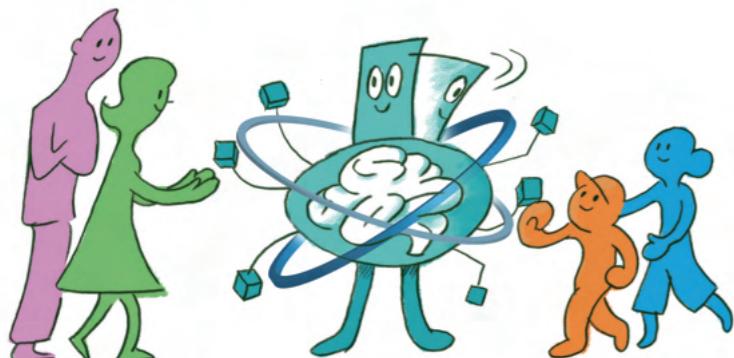


**当社は高い倫理観と確かな知識を持ち、
法令遵守を最優先に企業活動を行い、
信頼される会社となれる事を目標としています**

私たちは法令や習慣、社会ルールに則った企業活動を行います

社員の意識・知識向上の為に以下の活動を中心に企業倫理の徹底に取り組んでいきます

■ 生成AI利活用ガイドラインの策定に着手しました



ガイドラインの目的

生成AIは業務効率化やアイデア創出などに有用である一方、情報漏洩や誤情報、著作権侵害といったリスクも伴います。これらのリスクを最小限に抑えつつ、社員が安心して生成AIを活用できるよう基本的なルールを定めます。

総務部主導で策定を進めている生成AI利活用ガイドラインの社内への周知、教育、適切な運用を公正事業推進委員会で進めていきます。社員一人ひとりが正しく理解し適正な管理運用の重要性を認識しお客様に安心・安全をご提供できるよう活動してまいります。

■ 全社員との秘密保持誓約書の締結



営業秘密の適正管理・運用を行っていく上で、全社員と秘密保持誓約書の締結を行いました。締結するにあたり秘密情報管理台帳を作成し、守るべき秘密、管理方法、責任者を明確にすることで、情報資産の適正管理に強い意識を持ち、会社全体で情報漏洩が起こることの無いよう企業力向上に取り組んでいきます。

■ 情報セキュリティ関連規定の策定を開始しました



▲ e ラーニングで知識習得

近年企業規模を問わず大きな問題となっているランサムウェアへの対策や、メール・SNSなどのセキュリティ対策は情報漏洩、社会的信用の失墜、事業継続の阻害を防ぐためにも重要です。総務部門主導で規定の策定に着手しました。社内への啓蒙活動、規定の適正な運用を委員会で推進していきます。

[今後の活動]

- ・各種規定の社内啓蒙活動
- ・社内教育の場として勉強会、説明会等の企画
- ・メール等セキュリティシステムの検討 etc...